

第1章 調査の概要

1. 調査目的

市役所庁舎（以下「市庁舎」という。）は、平常時には市民にサービスを提供し、万が一の災害発生時には、防災中枢拠点として災害復旧活動の中心となる重要な施設である。

現在の市庁舎は、市制施行50周年記念事業の一環として、昭和47年に建設され、既に35年が経過したことから、老朽化や狭あい化などの深刻な問題を抱えている。

また、耐震診断の結果では、耐震性が不足し、災害時に災害復旧活動の中心となる防災中枢拠点の機能を果たすことも困難な状況となっている。しかし、耐震改修工事には、多額の費用や仮庁舎の確保などといった課題がある一方で、大幅な耐久性の向上は望めないという問題がある。

そこで、これら問題点を踏まえた上で、新たな市庁舎の建設を視野に入れ、今後の検討を進めていく上での基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

2. 調査概要

① 郵送調査	
(1) 調査地域	川越市全域
(2) 調査対象	川越市在住の20歳以上の男女個人 5,000人
(3) 調査方法	郵送配布・郵送回収
(4) 調査期間	平成20年2月15日（金）から平成20年3月14日（金）
(5) 有効回収数	2,717件（有効回収率 54.3%）

② 窓口調査	
(1) 調査対象	川越市民
(2) 調査方法	窓口配布・郵送回収
(3) 調査期間	平成20年2月15日（金）から平成20年3月14日（金）
(4) 有効回収数	685件

【窓口調査 アンケート配布場所】

1	庁舎案内 (市役所1階)	9	福原出張所	17	さわやか 活動館	25	福原公民館	33	伊勢原公民館
2	政策企画課 (市役所4階)	10	山田出張所	18	南公民館	26	大東公民館	34	川鶴公民館
3	南連絡所	11	名細出張所	19	北公民館	27	大東南公民館	35	中央図書館
4	本川越証明 センター	12	霞ヶ関出張所	20	芳野公民館	28	山田公民館	36	西図書館
5	芳野出張所	13	川鶴連絡所	21	古谷公民館	29	名細公民館	37	川越駅東口 図書館
6	古谷出張所	14	霞ヶ関北 出張所	22	南古谷公民館	30	下広谷南 公民館		
7	南古谷出張所	15	大東出張所	23	高階公民館	31	霞ヶ関公民館		
8	高階出張所	16	中央公民館	24	高階南公民館	32	霞ヶ関北 公民館		

③ホームページ（HP）調査	
（１）調査対象	川越市民
（２）調査方法	専用WEBサイトにアクセスして入力
（３）調査期間	平成20年2月15日（金）から平成20年3月14日（金）
（４）有効回収数	575件

④全体（郵送・窓口・ホームページの集計）	
（１）調査対象	川越市民
（２）調査方法	上記①～③の調査による
（３）調査期間	平成20年2月15日（金）から平成20年3月14日（金）
（４）有効回収数	3,977件

3. 調査内容（全調査共通）

- （１）市庁舎を移転する考えに関する認知度について
- （２）最近1年間での市庁舎の利用頻度について
- （３）新しい市庁舎の場所は川越駅西口がよいと思うかについて
- （４）現在の市庁舎までの主な交通手段について
- （５）市庁舎を川越駅西口に移転した場合の電車やバスの利用について
- （６）新しい市庁舎の望ましいイメージについて
- （７）新しい市庁舎に望む機能や施設について
- （８）新しい市庁舎の建設で重視すべきことについて
- （９）移転後の現在の市庁舎の活用について

4. 報告書の見方

- （１）回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で表示してある。
- （２）百分率は、小数第二位を四捨五入してあるため、いくつかの回答を合わせた場合に比率が合わない場合がある。また、比率の合計が100%にならない場合がある。
- （３）複数回答の場合には、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- （４）作図・表の都合上、設問や回答の選択肢、及び数値を省略している場合がある。
- （５）基数（n）が30未満と少ないものは、比率が動きやすいため、傾向をみるにとどめる。このため本文では触れていない場合もある。

5. 地区別区分図(出張所別)

